

産禅洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・産禅洞診療所
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談
 診 察 日：月曜・木曜・金曜
 受付時間：9:00-12:00
 〒502-0017 岐阜市長良雄越878-16
 IP Tel:058-295-9545
 FAX:058-296-3903
 E-mail:zazendo@ccn.aitai.ne.jp
 http://zazendo.town-web.net/

第97号 2012. 4. 1

毎月1回発行 産禅洞診療所 松井英介

次世代へのツケ

松井英介

2011年3月11日から早くの一年以上が過ぎ去りました。みなさま、いかがお過ごしですか。

こうしている今も、おおくのこどもたちが放射性物質で汚染された地に住みつづけています。避難所・仮設住宅で、また遠く離れた地で、不自由な生活を送っている方々も少なくありません。高度に汚染された東電原発事故現場で作業にたずさわっている方々のことを考えると、胸が痛みます。

私たちのからだの細胞をむしばみ、いのちを脅かす内部被曝の源はつぎの三つです。

第一は、東電原発事故現場から、今も大量の核種放射性物質が放出され、水・大気・土・自然生態系を汚染しつづけていることです。

第二は、政府が全国の自治体に押しつけているガレキや汚泥の処理です。高温処理に伴う大気汚染と、高濃度汚染焼却灰の埋め立てによる地下水系の汚染が問題です。汚染物質は東電敷地内に封じ込めるべきです。

第三は、食です。政府が示した新基準地（許容線量限度値）には、骨や歯に長期蓄積するストロンチウム90の基準値がまったく定められていないなど、さまざまな欠点があります。

甚大な被害を受けるのは、とくに小さなこどもたちです。

いのち、とくに子どものいのちを守るため、多くの人びとの力を総結集し、東電・日本政府・原子力ムラベンタゴン（財・政・官・法・学）の無謀で非人間的なやり方にストップをかけましょう！

すべてのひとが、誇りをもって働けるように、政府をして長期計画を立てさせましょう。とくに、汚染の少ない北海道や九州はじめ遠隔地で、地域のつながりと伝統文化を保ちながら、農業・酪農・漁業・林業などがつづけられるように、一時産業最優先百年の計を策定させましょう。

日本列島のみならず地域全体に、原発事故は甚大な汚染をもたらしました。原発事故の原因企業に謝罪と賠償を求め、日本政府には、百年の計を実現出来る基金の設立を求めましょう。

さまざまな被害をうけた99%の私たちは、他方で原発推進を黙認しつづけて、その結果次世代に大きなツケを残してしまいました。私たちが手をつないで立ち上がることは、子どもたちへの謝罪のささやかな第一歩ではないかと思うのです。

内部被曝の理解は、私たちが手をつなぐための必須条件だと考えます。

